

アラズ・イマノフ

別れた双子

「体の会議の前に、精霊は重要な会議の準備をしています。」

パウロ・コエーリョ

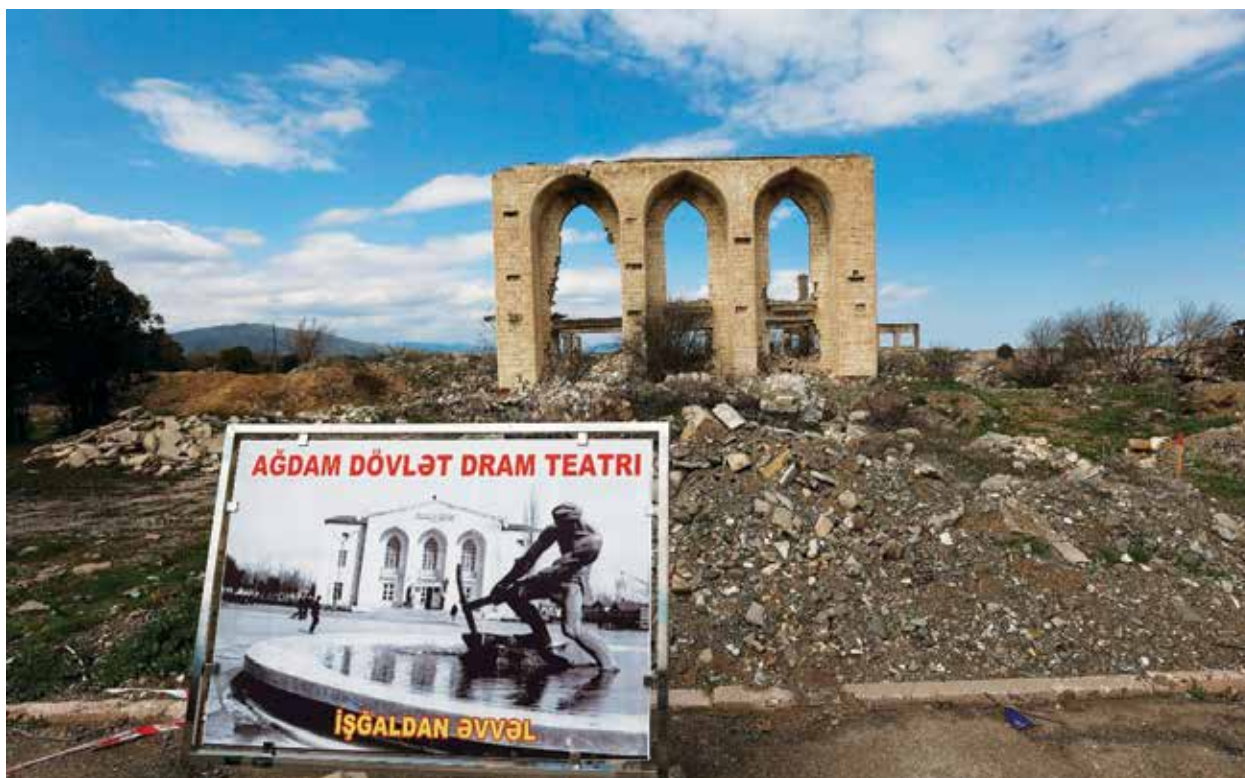


2022年10月、静かな日の1つでした。まだ会っていませんでした。雲に覆われた灰色の空を照らそうとする太陽は、その熱を私たち二人に少しでも伝えることができました。寒くなくても、思い出の花火は傷が泣き叫び、私たちの内側を傷つけています。私たちは顔の表情から、私たちにどのような難しい道を通ってきたかについて知らされないように、直立しようとしていました。初めて並んで立って、自分たちに起こったことを周りの人に伝えます...興奮していました...

私は、他の兄弟たちと一緒に、2 年前に奴隷制から解放されましたが、私の傷はまだ癒えていません。30年前まで10万人以上に手を広げたカラバフの出身者です。目撃者は、私が回復するのに何十年もかかるだろうと言っています。そして、私は二度と同じようには見えません。私の名前は古代トルコ語で「明るい白い家」と「小さな城」を意味しますが、私には家も城も残っていません。何十万人もの人々が住んでいた場所がありました - それぞれが独自の住民、独自の物語、独自の歴史を持っていました...

私たちはそれまで会ったことはありませんでしたが、運命が似ていることを知っていました。一人は 1945 年 8 月に心を打ち、それを地球上から完全に消し去り、未来の世代の生活に反映される悲劇をもたらしました。その苦い年月を目の当たりにした人々は、今では「被爆者」と呼ばれています。何千人もの人々が一度に破壊され、生存者の皮膚が骨から剥がれ落ち、喉の渇きで唇が乾き、水を一滴飲むとすぐに亡くなるのを見るのはどれほどつらいことでしょうか？ 被爆者の嘆きと彼らが経験した浮き沈みの話を聞くと、ホジャリ、バシュリベル、バリガヤ、アグダバンなどの悲劇を思い出し、私たちの出会いは偶然ではなかったという確信が強まりました。私たちは世界の2つの非常に異なる場所に置かれたましたが、互いに非常に似ていましたが、私に加えられた抑圧は異なっていました。

時々、彼らも私を撃ってくれたらいいのと思います。しかし、彼らはそれをしませんでした-最初に私の親戚を追い出し、私が持っていたものをすべて燃やし、灰を空中に吹き飛ばし、次にそれらを細かく切り刻み、



略奪と盗みを始めました。私の緑の木々、茂み、54,000 ヘクタール以上の森林を切り倒し、草や芝生を枯らしてしまいました。彼らは私の静脈を流れる川の方を変え、私の自然を破壊したので、今ではここに生物は1つ

も見つかりません。彼らが作成したイメージで、彼らは私がここに来たことがないという印象を模倣しようとしていました。彼らは私の原住民の墓から大理石の石を盗み、それらから階段を作り、私たちの胸の石を踏んで精神的な

喜びを感じ、墓の頭蓋骨からかつてファッションナブルであると考えられていた金の歯を取り出しました。彼は私の宗教的モニュメントーモスク、教会、修道院、寺院を破壊しました。私を辱めすために破壊しなかったモニュメントの中に豚や牛を飼って、壁にわいせつな言葉を母国語で走り書きした。私の博物館、図書館、文化的モニュメントがここ



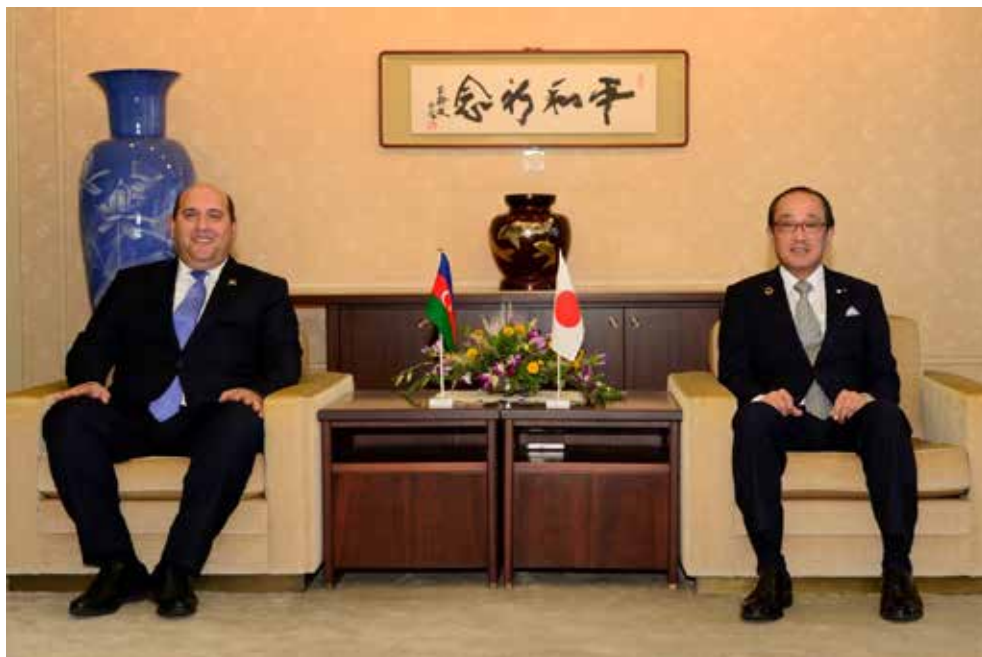
にはなかったかの
ように、何も見つ
かりません。彼ら
は山の頂上から
地下のトンネルを
通って流れる泉を
干し、その道を軍
事目的に使用しま
した。

これで終わっ
ていません。この
間ずっと、彼らは
私のぶどう畑を
枯渇させ、地雷原
に変えました。現
在、私の胸には約

100 万個のさまざまな地雷があります。対戦
車地雷と対人地雷、プラスチックと木製、手榴
弾、自家製ブービー トラップがパイプ、入口、
出口に隠されています。見る人はゴースタウン
と呼んでいます。私は魂さえ残っていま
せん、私は破壊されました！

私はアグダムです！ かつて日本の広島と
同じ日に陥落した都市です。私の言葉が比喻
ではないことをあなたの目で見ていただける
ように、私の現在の写真をあなたと共有しま
す。残念なことに、1993 年以来、私は自分が
言及した真実を誰にも説明することができま
せんでした。むしろ、それが真実であると誰に
も納得させることができませんでした。国際
社会、すべての国、国際機関は私をアゼルバ
イジャンのカラバフのアグダムとして認めてい
ますが、何年もの間、私の声を誰でも聞こえま
せんでした、私の心の中の言葉は一枚の紙
に書かれて忘れられていました。2020 年の
44 日間の愛国戦争中、勝利を収めた私の国
の最高司令官であるイルハム アリエフ大統領
が率いる勇敢な軍隊が、アルメニアの奴隷制
から私を救いました。

今、私を治療し、元に戻し、癒してくれてい
ます。地雷が除去され、100 キロメートルに及



ぶ新しい高速道路、新しい鉄道、ライト ライン
が建設されています。住宅地、中庭、スタジア
ム、幼稚園、学校、大学の美しさを見るため
に、外国からの訪問者が列を作ります。今、捕
らわれの身から逃れた私と兄弟たちは、世界
で最も緑豊かな地域の 1 つになり、空の天国
がどのように見えるかを地上の人々に示すた
めに、自分自身に責任を負っています。

2022年10月、静かな日の1つでした。まだ
会っていませんでした。雲に覆われた灰色の
空を照らそうとする太陽は、その熱を私たち
二人に少しでも伝えることができました。寒く
なくても、思い出の花火は傷が泣き叫び、私
たちの内側を傷つけています。私たちは顔の
表情から、私たちにどのような難しい道を通
ってきたかについて知らされないように、直
立しようとしていました。初めて並んで立って、
自分たちに起こったことを周りの人に伝えま
す...興奮していました... アグダムは広島に來
て、世界で平和がいかに重要であるかをもう
一度強調しました。アグダムは双子の兄弟に
会い、悲しみ、彼から学び、彼の模範に従い、
彼らは皆に共感したことを伝えました。

私たち二人の魂は、この会議のために多く
の準備をしてきました。✿



